

## 多度地区小中一貫校整備事業 第13回開校準備委員会 会議概要

開催日時 令和6年6月22日(土) 10:00~11:30

出席委員 25名中 25名

### 1. 開会・あいさつ

事務局：本日の議事について、委員長と相談をさせていただき、一部非公開としたい。進行にご協力をお願いしたい。

### 2. 自己紹介

### 3. 開校準備委員会について

### 4. 議事

委員長：いよいよ多度学園の開校まで2年を切って感慨深いものを感じている。昨年度より、皆さんにたいへんお力添えいただき、校歌の歌詞をつくっている。今年度もいろいろな協議事項があるが、子どもたちのために準備を進めていきたい。ご協力をお願いしたい。

本委員会の会議録は、会議の概要とさせていただきたい。また、記録として会の様子を写真撮影させていただきたい。

#### (1) 令和5年度の検討の経過

- ・開校準備委員会
- ・地域連携部会
- ・教育指導部会

事務局：(報告)

委員長：校歌はAIでつくるという、日本で初めての方法となる。しかし、初めてということで、環境整備に時間を要している。何かご質問はあるか。

委員：(発言なし)

#### (2) 令和6年度～令和7年度のスケジュールについて

- ・令和6・7年度検討予定(案)について

事務局：(提案)

委員長：質問はいかがか。

委員：学校跡地の利用について、スケジュールを教えてください。

事務局：当課で、プロジェクトを立ち上げて、検討しているところである。4月に、自治会長にご意見をお聞きし、今現在、そのご意見を庁内で検討しているところである。公表できる段階になれば、報告させていただく。

委員長：他はいかがか。

委員：(発言なし)

委員長：ハード面の準備は着々と進んでいる。中身の検討がこれから重要になってくる。ご協力をお願いしたい。

- ・各部会の報告

委員長：各部会からの報告をお願いしたい。地域連携部会は、今年度はまだ開催されていないため、  
本日は教育指導部会のみ報告となる。

教育指導部会代表：(経過報告)

委員長：4小プロジェクト等が計画されているようである。質問はいかがか。

委員：(発言なし)

### (3) 義務教育学校「多度学園」の校歌について

- ・多度学園校歌の作曲について

事務局：(進捗状況の報告)

委員長：校歌の進捗状況について説明があったが、質問はいかがか。

委員：新しい校歌ができると、旧学校の校歌は自動的になくなるのか。これから閉校に向けて会議がある中で、どうやって残していくかという議論があると思ってよいか。現在の校歌は、歴史ある曲であり、副校歌として残していただきたいという声を聞いている。

事務局：建物に限らず、校歌など思い出の部分が、閉校と共にすべてなくなってしまうのではなく、新しい学校に何か思いが引き継がれるようなことも考えていかなければと考えている。今後、閉校に向け、皆さんにご相談おかけするような中でも検討を進めて参りたい。

委員長：新しい校歌をつくるとなった当初、今の校歌をそのまま使ってもいいのではないかという議論があった。いずれ建物はなくなってしまうが、皆さんが過ごされた学校の記憶をどう残していくかということ、例えば閉校委員会などで考えていただけるといいと思う。

事務局：思い出をどのように残していくことができるかを、検討していきたい。

委員長：作曲のプロセスについて質問したい。子どもたちの意見を取り入れるというのは、どの段階か。

事務局：詳細については、現在調整中であるが、メロディフレーズをつくる工程で子どもたちに関わっていただきたい。たくさんのアイディアを出して、出してもらったアイディアをもとに曲にまとめていくという作業が想定されている。

委員長：秋頃の作曲作業に向けて、超校歌プロジェクトのほうもいろいろ案を練っていただいているようである。詳細は、次回の開校準備委員会で、事務局から提案という理解でよいか。

事務局：はい。

委員長：では楽しみにしたい。AIを活用した校歌作成については、調整を図りながら進めているところであり、まだ公表段階にない。然るべき段階になったら市が発表する。

他に、ご質問等あるか。

委員：資料3(「地域連携部会の検討の経過」)で、例えば「半径1.5km以内とする」などと、断定形の言い方がされている。地域連携部会の中で決議をとった記憶はなく、承認を得られた記憶もないのだが、これだと、地域連携部会で決定したように見える。決定したという認識は一切ない。地域連携部会は議事録もないと聞いている。事務局から話があったように、各部会等で検討した内容を市が決定するという理解であるが、この記載は地域連携部会が決定したように見える。

事務局：昨年度の地域連携部会で、皆さんで話し合っていたいただき、資料に記載の内容を確認いただいたと事務局では認識している。

委員：事務局からの「これはどうか」という提案に対して、「それしかないのではないか」という判断でしかなかった。他にも、「こういう条件があるのならば、こういう方法もとれるので

はないか」というような検討であった。例えば、多数決あるいは起立して賛成を求めるなどは一切されていない。「～を検討した」という書き方はいいと思うが、「～とする」と決定した記憶がない。資料に書かれていることについて、「どうですか」と聞かれてはいるが、「それです承いただけますか」とは聞かれていない。地域連携部会には決定権はないと聞いているが、この書き方だと地域連携部会が決定したと読み取れる。より良い方向はないかという検討はしているが、決定はしていない。

事務局：資料の表記で誤解を招いてしまう点について、ご心配おかけした。あくまで、昨年度までの地域連携部会でどのような話し合いがされたかの経過をまとめた資料である。開校までに2カ年を切ってきている状況であり、今年度の地域連携部会では、具体的な通学ルート等を確認していきたい。

委員：私の質問は、断定形の記載の話である。資料には、地域連携部会で検討したことも、市が承認した内容も入っている。資料に記載がない件であるが、地域連携部会で歩道橋設置の話題が上がった際、桑名市の考えとして立体交差を考えていないという回答があったが、それを地域連携部会で出した方針であるとの説明があると聞く。地域連携部会の中で、これは決定事項ですという通知はされていない。検討した内容と決定した内容は分けて、記載していただきたい。

委員：私は、地域連携部会の代表をしていたが、この部会はもともと決議する場所ではないということを、部会のみなさんも認識しており、採決をとるなどはしていない。みんなで検討する場という理解でいる。資料に書かれている徒歩通学路などについても、絶対これだということではなく、もっといい方法があれば、今年の部会で検討していくのが可能だと思う。

委員：地域連携部会で、歩道橋の設置をしたらどうかという話をしたところ、市の職員が、桑名市は立体交差を考えていないと回答したため、設置の可能性は低いと理解していた。しかしその後、歩道橋の話をもう一回あげたとき、これは直接聞いたわけではないので正確な情報ではないかもしれないが、地域連携部会で歩道橋は設置しないという決定になったから今後検討することはできないという回答だったそうである。地域連携部会では、あくまで地域の実状がわからないから、地域の4小1中の各PTA副会長や教頭などが集まり、こういう検討が必要ではないかという話をしているだけであり、最終的に決定までしていない。決定は市で行うという回答だったと思う。この報告方法で、地域連携部会の資料に記載すると、実際とちがう。

委員長：委員のご質問は、断定形に書いてあるという点であり、先ほどの事務局からの回答は中途結果の報告だということであるので、継続的に検討するという点でいいのではないかと私は理解した。それでよろしいか。

委員：資料の記載は、地域連携部会が決定しているというように読める。要は、歩道橋をつくらないと決定したのは地域連携部会ではない。

事務局：あくまで検討の経過ということで、資料の表記については誤解がないよう、十分気をつける。資料に書いてある中身として、徒歩区域は新しい学校から半径1.5kmエリア、この点については、すでに市としても決めており、それに沿ったスクールバスの計画等を進めているところである。

委員：決定したという認識はない。決定しているということを1回も言われたことがない。

事務局：表記や情報、経緯をもう一度整理し、確認をしながら進めていく。ご指摘の点は、受けとめさせていただきます。

委員長：大事なお指摘ありがとうございました。地域連携部会で、何が決定されているのか確認し、表記等も含めて、検討いただけたらと思う。よろしく願いしたい。  
では、冒頭申し上げた通り、この後の事項には未確定な情報があるため、非公開として進める。ご協力をお願いしたい。

以下余白